

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-69971

(43)公開日 平成6年(1994)9月30日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 3/10	A	7028-5 G		
C 0 9 J 7/02	J J E	6904-4 J		

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平5-9087

(22)出願日 平成5年(1993)3月5日

(71)出願人 000004455

日立化成工業株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号

(72)考案者 生沼 靖宏

茨城県下館市大字下江連1250番地 日立化成工業株式会社結城工場内

(72)考案者 増山 修一

茨城県下館市大字下江連1250番地 日立化成工業株式会社結城工場内

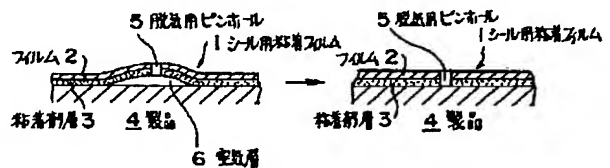
(74)代理人 弁理士 若林 邦彦

(54)【考案の名称】 シール用粘着フィルム

(57)【要約】

【目的】 製品表面に貼付されるシール用粘着フィルムにおいて、粘着フィルムを製品表面に貼付した際に生じる空気層を外部に簡単迅速に脱気できるシール用粘着フィルムを提供することを目的とする。

【構成】 フィルム2裏面に粘着剤層3を形成したシール用粘着フィルムにおいて、フィルム2と粘着剤層3を貫通する脱気用ピンホール5を複数箇所に開設設置する。



1

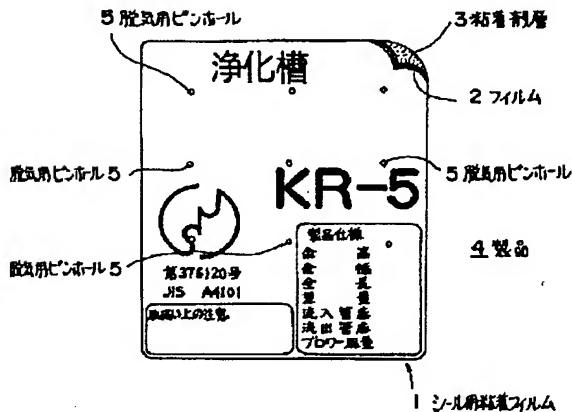
【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 フィルム裏面に粘着剤層を設け、この粘着剤を介して製品の任意箇所に貼付されるシール用粘着フィルムにおいて、前記フィルムには、フィルム表面から粘着剤層に貫通する脱気用ピンホールが複数個開設されていることを特徴とするシール用粘着フィルム。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案によるシール用粘着フィルムを製品表面*

【図1】



2

*に貼付した状態を示す平面図である。

【図2】 本考案によるシール用粘着フィルムにおける脱気作業を説明する断面図である。

【符号の説明】

- | | |
|--------------|--------|
| 1…シール用粘着フィルム | 2…フィルム |
| 3…粘着剤層 | 4…製品 |
| 5…脱気用ピンホール | 6…空気層 |

【図2】

